

2012年 梅まつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特選

千本の万蕾」ぞる梅まつり

調布市 多田 昇

評 「万蕾こぞる」という張りのある調べが素晴らしい。

新しき出会ひとなりぬ梅めぐり

府中市 渡辺 行子

評 梅園に来て新しい知り合いができたのもよかったこと。

まだまだと思いのままに咲かぬ梅

府中市 石井美保子

評 梅の名「思いのまま」を詠み込んで巧み。

産月と梅の開花を待ちくらべ

府中市 池山 牧代

評 梅の開花を待ちながら赤ちゃんの誕生を待つ、心ふくらむ思い。

少年の未来を語る梅の下

品川区 高橋三津子

評 凜とした梅の花の下で少年の「未来を語る」のは似つかわしい。「少年が…」ともとれるが、前者か。

佳作

千万の梅のつぼみの雨滴かな

川崎市 古川 きよ

肩冷えて人待つ門にも梅の影

府中市 白鳥 一子

梅まつりあやつり獅子に児も踊る

府中市 勝浦 孝夫

らぶばいに透けて多摩川風の径

府中市 柿谷 妙子

観梅の足裏の筵心地良く

目黒区 片桐 啓之

きらめきの妻の横顔梅の園

川越市 関口 幹雄

まん丸い梅の蕾がはじけそう

多摩市 高橋 茂

梅一輪君とほほ寄せ聞くかほり

府中市 橋本 裕二

余生なほ凜とありたし梅見頃

川崎市 中村 勝弘

青き空つぼみの枝を伸ばす梅

三鷹市 下地 文

(敬称略 新漢字・歴史的仮名遣い 順不同)